

岡山県浅口市はストロー産業の盛んな地域だ。その中、飲料用、工業用ストローの製造販売のほか、自動電気検査装置の開発販売を手掛けるのはシバセ工業だ。2010年には、同業の(有)ダイヤストロー本店(浅口市金光町占見新田)から事業を譲り受け、新たに金光工場(同所)を開設した。自社ブランドのストローは「ダイヤストロー」ブランドとして統一し、浅口地域でも大手のストロー業者として知られている。このほど、自動検査装置をストローの4ラインに導入するなど、生産設備も拡充し、品質体制も強化した。磯田社長に話を聞いた。

「地場では大手のストロー業者として知られます。主

力商品について

「弊社は飲料用と工業用のストローを生産販売している。飲料用では、タピオカの使用など食材が多様化したため、食材ごとに最適な口径や長さ、色を採用し対応している。他社は大凡、多ロット少品種だが、弊社は逆に多品種、小ロットで対応している。現在は飲料用ストローが主力だ」

「関東営業所を埼玉県に開設しておりますが、受注状況など「埼玉県さいたま市に関東営業所を12年に開設し、需要が最もある東京都などの首都圏にも販路を築いている。関東営業所は販路を着実に伸ばしており、東日本エリアを網羅し、本社で西日本エリアを網羅する。2カ月に1度の営業会議でも新規案件の報告が毎回、50件以上ある。海外のストローが国内のシェアを拡大しているが、品質の良さや提案力で受注を獲得している」

「ストロー事業以外に自動電気検査装置にも注力しています」

「私は日本電産(京都市南区、永守重信社長、資本金665億5122万790円)で開発部に所属し、エンジニアとして、電源装置の電気回路設計や生産ラインの自動検査装置の開発に従事していた。その技術を活

かし、日本電産向けに自動電気検査装置を計400台納品した。弊社のストローの製造ラインにも、品質の向上を見込ん

で自動検査装置を導入した」

「飲料用、工業用ストロー、検査装置の3本柱で事業展開しておりますが、今後の会社の展望を

「昨年度は前年比15%増の売上げ高2億6千万円を上げ、今期はその10%増の計画で事業をすすめている。売上げ比率は飲料用が80%、工業用が15%、検査装置が5%だが、将来的には飲料用を40%に、工業用を30%、検査装置を従来の6倍の30%にしたい。創業88年。私自身は素麺製造業から業態転換した、弊社2代目の芝勢啓介氏(故人)の親戚ということもあり、第3次創業と捉え、果敢に新しいことに挑戦したい」

多品種小ロットで受注獲得 自動検査装置を自社ラインに

シバセ工業(株) 社長

磯田 拓也さん (54)

いそだ たくや



▽磯田拓也「1960年1月1日、浅口郡里庄町出身。県立笠岡高校、大分大学工学部エネルギー工学科卒業後、日本電産(株)入社。98年、シバセ工業(株)に入り、工場長を経て、05年社長就任。趣味は設計。好きな言葉は「鶏口牛後」。里庄町に妻と長女の3人で暮らす。

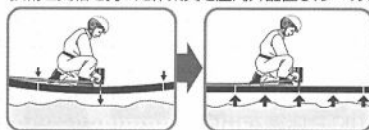
▽シバセ工業(株)「浅口市鴨方町六条院中3037、電0865・44・2215。http://www.shibase.co.jp」。同社は1949年設立。資本金1千万円、パートを含めた従業員は30人。年商は2億6千万円規模。

床の傾き、へこみでお困りの方に...

工場、倉庫、店舗...etc
不良品また業務の障害になる

床の傾き直します。

既設の洗んだ床に小さな孔を開け、そこに特殊ウレタン樹脂を注入し、樹脂の発泡圧力で床下からコンクリートを押し上げて元に戻す工法です。技術と資格を持った作業員を屋内外配置し、レベル確認をしながら、慎重に施工します。



- 業務を止めず修正可能。
- 短工期で修正可能です。
- 環境にも優しい工法です。

まずはお気軽に
ご相談ください!



株式会社工フエムふくやま

広島県福山市西町二丁目10番1号 福山商工会議所1F
TEL.084-920-8777 FAX.084-920-8778

施工業者 アップコン株式会社 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1